

第204号 まちのくすりやさん

今回のおはなし

「隠れ「慢性腎臓病」に注意」
「検診」



隠れ「慢性腎臓病」に注意

腎機能が低下して慢性腎臓病(CKD)になっても診断を受けていない患者さんが多いです。初期では自覚症状はありませんが、健康診断の異常値を放置すると腎不全になるリスクが高まります。診断の目安となる検査値が健康診断の必須項目でないので、気づかない人もいます。早期発見への対応が欠かせません。

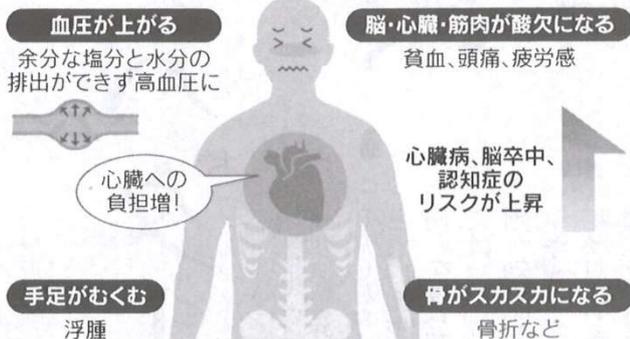
健康診断の項目の中で、血液中の老廃物の1つ「クレアチニン」の値は、腎機能が低下すると尿中に排出されず、血液中に蓄積して高くなります。また、「GFR」は、腎臓の糸球体が1分間に血液をろ過して作る原尿の量を示します。60未満の状態が3か月を超えると慢性腎臓病と判断されます、尿検査で尿タンパク陽性の状態が3か月を超えると60以上でも診断されます。進行すれば、心不全などで呼吸困難の症状なども出ます。糸球体の構造は複雑で、壊れると完全には回復できません。

慢性腎臓病の患者は、20歳以上の約8人に1人とされています。腎機能低下の初期は、自覚症状がありません。だからこそGFRの数値を確認して下さい。45未満ならば、専門医の治療が必要と言われています。

腎臓に負担をかけるたんぱく質や塩分の摂りすぎを避ける食事療法や血圧管理など、患者の状態に応じた生活習慣の改善や薬物治療をできるだけ早く始めて、残っている腎機能の悪化を防ぐことが重要です。

慢性腎臓病を早期に発見し、進行を遅らせることが大切です。

腎臓が動かなくなると…



慢性腎臓病は「GFR」が60未満が基準となる

ステージ(病期)	腎機能能力値(GFR)	腎臓の状態
G1	90以上	正常または高値
G2	60~90未満	正常または軽度低下
G3a	45~60未満	軽度~中程度低下
G3b	30~45未満	中程度~高度低下
G4	15~30未満	高度低下
G5	15未満	末期腎不全

(注)60未満が3か月超持続した場合などに診断。尿タンパクの状態などによっては60以上でも診断される

ザ・タバコ

浦安市薬剤師会

禁煙応援キャンペーン

(6月～12月)

禁煙したいと思っている方へ

私達は、禁煙できるように応援します。

あなたに合った禁煙方法を一緒に考え、禁煙に向けてサポートします。遠慮なく薬剤師にご相談下さい。

《禁煙応援キャンペーン 登録薬局》

- ・コガ薬局 (猫実)
- ・タカタ薬局猫実店 (猫実)
- ・薬局ドラッグ・ジロー (富士見)
- ・ごとう薬局 (弁天)
- ・アイセイ薬局美浜店 (美浜)
- ・薬樹薬局新浦安 (明海)
- ・アイン薬局メディカルガーデン新浦安店 (日の出)



熱中症には、ご注意ください。水分をしっかりとって下さい。

(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yaku_ura_t@urayaku.jp

ホームページ <https://www.urayaku.jp/>